

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 3月 4日

事業所名：運動学習支援教室ココノバ黒石校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		安全に運動出来るスペースを確保している。	国の基準を満たしたスペースの確保をし活動スペースとして提供させて頂いております。
	2 職員の配置数は適切である	7		適切に配置している。	国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		玄関に滑り止めマットを設置している。また、令和3年9月、玄関に照明、駐車場へセンサーライトを設置した。	事業所内はバリアフリー化されており、過ごしやすい環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎日の清掃、都度手洗い、うがい、手指消毒、職員のマスク着用、玩具、運動用具の消毒の徹底を行っている。	クッション板の上に防災加工のファブリックフロアマット敷いて療育を行っている。毎日の清掃、運動用具、玩具の消毒の徹底に努め過ごしやすい環境を整えている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		職員間でノートの活用、周知が必要な書類を回覧形式にしている。	今後も職員間で連携を深め、日々の支援の振り返りと共に、期間ごとに振り返りを行い「PDCAサイクル」への参加を行って参ります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		平成30年6月開校後より実施している。	随時、保護者様の意向を聞き取る為のアンケートを実施し、業務改善に努めております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		令和3年4月よりホームページのリニューアルを行っている。	適にHPの更新を行い、プログラム内容を紹介している。また、月1回の施設新聞の発行、その都度レクリエーションの案内を行っている。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		平成30年10月より危機管理委員会を設置した。	定期的に第三者による外部評価受審を受けている。今後も継続し、評価結果を基に業務改善に繋げ、より良い支援を目指します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的に事業所内外での研修を行っている。	外部研修は掲示板に張り出し、興味のある研修へ各自参加している。また、月1回内部研修を行い職員の質の向上に努めています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		些細な情報でも聞き出せるようアセスメントを行う際は話やすい環境を整えている。	アセスメントシートを用いて、より細かいアセスメントを行うと共に、子どもや保護者様のニーズに沿った計画を作成させて頂いております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		法人内で統一したアセスメントツールを使用している。	アセスメントツールを利用することで、幼児期、学童期、青年期を通じ、繋げる支援を念頭において支援させて頂いております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		きちんとモニタリングした上で具体的に児童に合った支援内容を設定している。	事前に面談を行いモニタリングした後、具体的に児童に合った支援計画の作成、ガイドラインについても説明を行っている。また、ガイドラインの総則に基づいた活動を複数組み合わせ支援を行っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		きちんとモニタリングした上で具体的に児童に合った計画、支援を行っている。	計画については職員皆全員が共有し計画に沿った支援にあたっています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		定期的に立案の会議を開いている。	職員全員で意見を出し合い、プログラムの立案を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		定期的に活動の見直しを行っている。	様々な楽しい活動を実施している。今後も自立に向けた社会的なレクリエーション、体験型レクリエーション等実施して参ります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		きちんとモニタリングした上で具体的に児童に合った計画を作成している。	定期的にアセスメントを行い、子どもと保護者様の意向に沿った計画書を作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝の朝礼で確認している。	その日行われる支援内容や役割分担について、朝礼の際確認し、それぞれが支援開始前にも確認を行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		療育後フィードバックを行い振り返りを行っている。	支援終了後に全職員でその日の支援の振り返りと共に気づいた点を話し合っている。今後も継続することにより良い支援へと繋げて参ります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎日記録している。	支援記録をしっかりととることで、課題の把握や振り返りを行っている。今後も継続して行って参ります。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		面談のお知らせを配布し第2希望まで記入して頂き保護者様の都合に合わせて実施している。	定期的にモニタリングを実施し、継続、修正等見直しの判断を行っている。今後も継続して行って参ります。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	必ず参加するよう努めている。	基本は児童発達支援管理責任者が出席していますが、児童の支援内容によっては上記以外で児童指導員、保育士も出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	密に連絡を取り合っている。	密に連絡を取り合っている。また、関係機関には定期的に訪問し、いつでも連携が取れる体制を整えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	該当児童はおりません。	医療的ケアが必要な児童は通所していない。今後受け入れる場合、保育の現場、主治医とも密な共有を行い検査結果等で情報を得て参ります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	該当児童はおりません。	医療的ケアが必要な児童は通所していない。今後受け入れる場合、主治医とも密な共有を行い検査結果等で情報を得て参ります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	密に連絡を取り合っている。	保護者様の要望がある際は行っており、支援プラン等共有しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	密に連絡を取り合っている。	状況に応じて学校訪問も行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	密に連絡を取り合っているが研修には不参加。	例年、他事業所と合同研修を行い、自分の知識と幅を広げられるよう努めているが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から参加していない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	今年度は実施出来ない。	例年、市内のショートテニスクラブと交流を図っていたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、今年度は実施していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	回覧板、地域や市で行っているイベント等こまめにチェックしている。	例年、管理者が参加しており、内容については情報共有しているが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から参加していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	連絡帳でのお知らせ、帰りの送迎時にお話をする機会を設けている。	児童の課題や状況を日ごろから保護者様とコミュニケーションを図りながら、情報共有しやすい環境作りにも努めています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	その都度支援している。	各家庭に応じて相談や助言を行っている。相談しやすい環境作りにも努めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	わかりやすい言葉で丁寧な説明を心がけている。	契約時に必ず説明を行っており、契約時以外でも受給者証の更新や上限管理等の手続きでサポートを行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	わかりやすい言葉で丁寧な説明を心がけている。	事前に面談を行いモニタリングした後、具体的に児童に合った支援計画の作成、説明を行い同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	普段から保護者様とコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りにも努めている。	相談を受けた際はその都度、助言やサポートを行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	「親の会」を開催し、保護者様との交流を通して相談や悩み等話がある為、その都度相談に応じていたが、今年度は実施出来ない。	毎月第一(土)親の会を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止としている。今後、状況に応じて情報交換の場を提供する機会を作って参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	普段から保護者様とコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りにも努め適切に対応している。	相談窓口を設けており、重要事項説明書にも記載、契約時に説明している。各家庭に応じて相談や助言はその都度行っており、相談しやすい環境作りにも努めている。状況に応じて参考資料も配布しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	定期的実施している。	毎月施設新聞の発行の他、レクリエーション予定表も配布している。情報は随時配信させて頂いております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	同意書を得ている。	全職員への個人情報の取り扱いについての指導を行い、管理については徹底を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	連絡帳でのやり取り、定期的な面談の他、電話での情報交換を行っている。	児童、保護者様共に意思疎通、情報交換の為に細心の配慮を心掛けています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	事業所主催の行事は現在行っていない。	新型コロナウイルスが終息次第、長期休暇や祝日を利用してイベントを開催し、年齢等問わず地域の方々が気軽に訪問できる機会を設け、より多くの人に周知して頂く。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	マニュアルを配布している。	周知している。いざという時に直ぐ対応出来るように準備、確認を定期的に行って参ります。	

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	定期的を実施している。	定期的に避難訓練の実施、マニュアル等の見直しも行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	アセスメントシートを活用している。	保護者様からの聞き取りの際に確認し、職員全員で共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	アセスメントシートに何のアレルギーがあるのか記載している。	保護者様からの聞き取りとなっている為アレルギーがある児童に関しては医師の診断書を見せて頂けるよう働きかけています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	ヒヤリハット事例集を作成し共有している。	ヒヤリハット、事故報告書、苦情報告書等を作成し職員間での情報共有に活用している。今後も継続して行って参ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	研修案内を張り出し参加を募っている。	内部研修、外部研修の他、新入社員にも随時研修を行っております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	身体拘束は行っていない。	身体拘束0についての取り組みを行っており、身体拘束は行っておりません。